

# 生誕100年記念 秋野不矩展

## AKINO Fuku

### Commemorating the 100th Anniversary of the Artist's Birth

会 期：2008年8月9日(土)～10月5日(日)  
 前期：8月9日(土)～9月7日(日)、後期：9月9日(火)～10月5日(日)  
 休 館 日：月曜日(ただし9月15日は開館)、9月16日(火)、9月24日(水)  
 開館時間：午前9時30分～午後5時[入館は午後4時30分まで]  
 観 覧 料：一般900円(800円)、20歳未満と学生750円(650円)、65歳以上450円  
 \*高校生以下と障害者の方は無料です。( )内は20名以上の団体料金  
 会 場：神奈川県立近代美術館 葉山  
 〒240-0111 三浦郡葉山町一色2208-1 tel.046-875-2800  
 主 催：神奈川県立近代美術館、毎日新聞社  
 協 賛：日本写真印刷

悠久の大地インドの風景と、そこに生きる人々を生き生きと描き出したことで知られる日本画家、秋野不矩の展覧会を開催いたします。  
 秋野不矩は1908年、静岡県浜松市に生まれました。1929年、21歳で京都に出て日本画を学び、翌年、帝展に《野を帰る》を出品し、初入選します。  
 以後、官展に出品を重ね新進作家として地歩を築いてゆきました。戦後の1948年、新しい日本画を創造しようとの決意し、それまでいた日展を脱退し、上村松篁、福田豊四郎、吉岡堅二らとともに在野の日本画団体「創造美術」(現在の創画会)の結成に参加します。  
 1949年からは、京都市立美術大学(現・京都市立芸術大学)で後進の指導にもあたりました。そして1962年、秋野不矩が54歳の時、ビスバ・バラティ大学(現・タゴール国際大学)の客員教授として招かれ、インドに1年間滞在したことにより、彼女の画業はよりスケールの大きなものに変貌を遂げます。厳しくも雄大なインドの大地を、やさしく生命力あふれるイメージで表現した作品の数々は、日本画の新境地を切り拓きました。  
 初期から晩年に至る日本画約90点、素描約30点、絵本原画約20点、総計約140点を展覧します。

#### [ 関連プログラム ]

##### 記念トーク

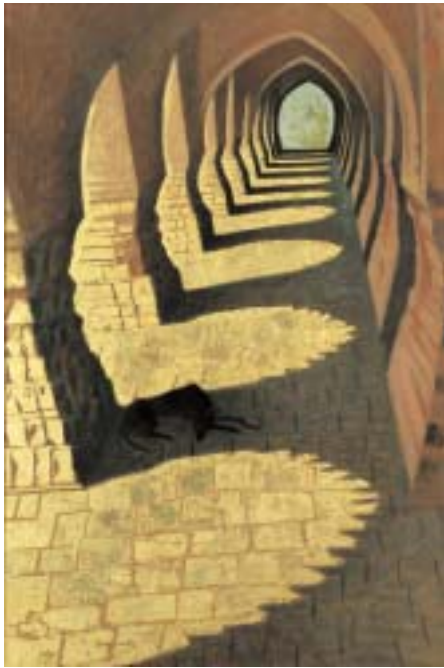
講 師：藤森照信(建築家)、秋野等(秋野不矩・五男)  
 日 時：9月12日(金) 午後1時30分 - 午後3時30分  
 会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂  
 定 員：先着70名(要申込)、無料  
 申込方法：住所、氏名、電話番号、ファクス番号をお書きの上、ファクスにてお申込ください。  
 申 込 先：神奈川県立近代美術館 葉山 ファクス 046-875-2968  
 申込締切：9月5日(金)  
 \*定員に空きがある場合またはキャンセルが出た場合、当日追加で受け付けることがあります。

##### 担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：8月23日(土)、9月20日(土) 午後2時から30分程度  
 会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 展示室  
 予約不要、無料(ただし「秋野不矩展」の観覧券が必要です)。

このプレスリリースは美術館ホームページにも掲載されています。  
[http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2008r\\_akinofuku.pdf](http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2008r_akinofuku.pdf)

お問い合わせ先 神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1  
 tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968  
 広報担当：山内、土居 展覧会担当：橋、朝木  
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/index.html>



《迴廊》 1984年 静岡県立美術館  
(前期のみ展示)



《紅裳》 1938年 京都市美術館



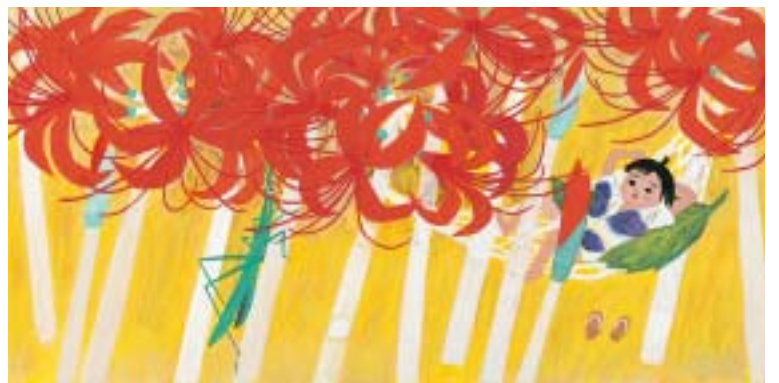
《猫(花の猫)》 1959年  
個人蔵



《土の家C》 1987年 浜松市秋野不矩美術館  
(前期のみ展示)



《カミの泉》 1976年 京都国立近代美術館



『いっすんぼうし』より 1965年 浜松市秋野不矩美術館



《オリッサの寺院》 1998年 浜松市秋野不矩美術館